

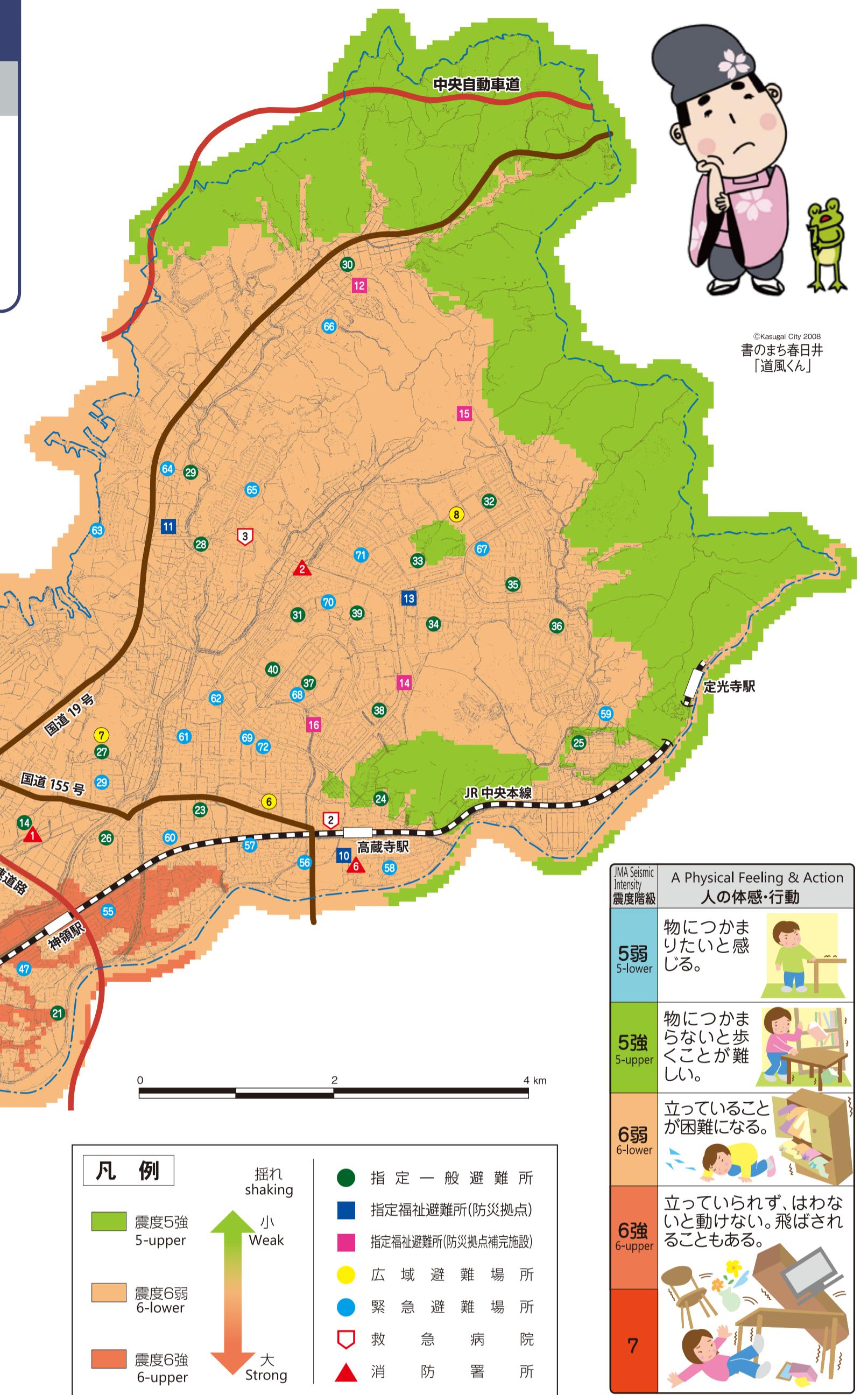
春日井市直下の地震

(マグニチュード6.9)

maximum seismic intensity
市内の最大震度
6-upper
6強

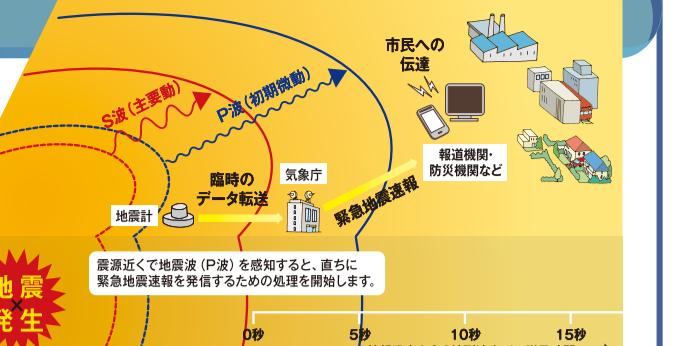
- 日本の内陸部では、いつ、どこで地震が起こっても不思議ではないと言われていることから、春日井市の直下で地震が発生した場合を想定しました。
- 春日井市内には、現在のところ断層は確認されていませんが、万一を想定しました。
- マグニチュードは6.9と仮定しています。

このモデルの地震が発生した場合、震度5強～震度6強の揺れが予想されます。



緊急地震速報

- 地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせるために発表されます。
- 緊急地震速報を聞いたら、落ち着いて安全行動をしましょう。



緊急地震速報を聞いたたら…

- | 学校 | 家の外 | 電車・バス | 人がたくさんいるところ |
|---------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|
| ●先生の話をよく聞いて、机の下などにかくれて身を守りましょう。 | ●ブロック塀など、倒れたり落ちたりするものから離れましょう。 | ●急ブレーキにそなえて、手すりなどにしっかりつかまいましょう。 | ●あわてて出口に走り出さず、係の人に従って落ち着いて行動しましょう。 |

「命」を守る

- 自宅の耐震化や家具の転倒防止など、「減災対策」を行って、地震による被害を抑えることができます。
- 今一度、我が家状況を見つめ直しましょう。



はじめよう！ 我家の耐震化

▶ 住宅の耐震性とは？

- 地震による大きな被害のひとつである建物の倒壊は、「古い建築基準で建てられている」、「配置のアンバランス」、「老朽化」等の耐震性の低さが要因であると言われています。



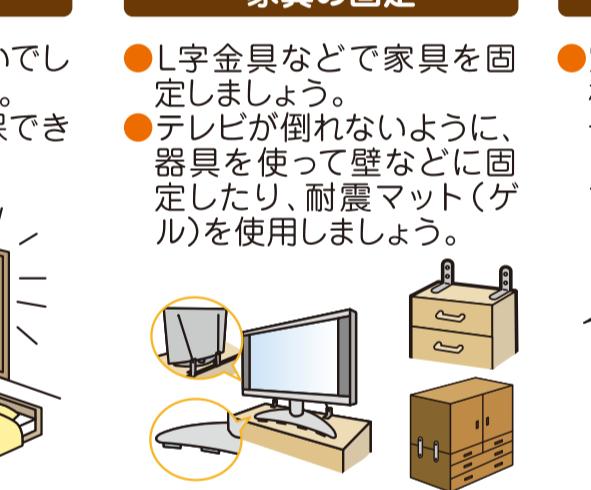
▶ 木造住宅の無料耐震診断・耐震改修費補助

- 市では、昭和56年5月31日以前に着工された在来軸組構法・伝統構法の木造住宅を対象に、専門家（県の講習を受け、登録された耐震診断員）による無料耐震診断を行っています。
- 市の無料耐震診断を受けて、判定値が1.0未満（倒壊する可能性がある）と診断された住宅を対象として、判定値を1.0以上（一応倒壊しない）とする耐震改修費用の一部を補助しています。
- 大規模地震に備えて、我が家耐震性を知るために、まずは無料耐震診断を受けましょう。

家の中の安全対策

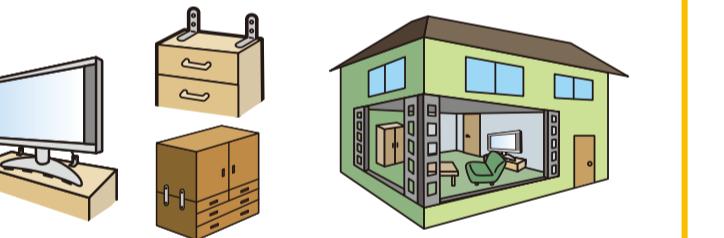
家具の配置

- 家具が倒れることで入口を塞いでしまわないように配置しましょう。
- 少しでも安全なスペースを確保できるように配置しましょう。
- 就寝中に地震が発生した場合には、倒れた家具の下敷きになることもあります。寝室にはできるだけ家具類は置かないようにならねばなりません。



家具の固定

- L字金具などで家具を固定しましょう。
- テレビが倒れないように、器具を使って壁などに固定したり、耐震マット（ゲル）を使用しましょう。



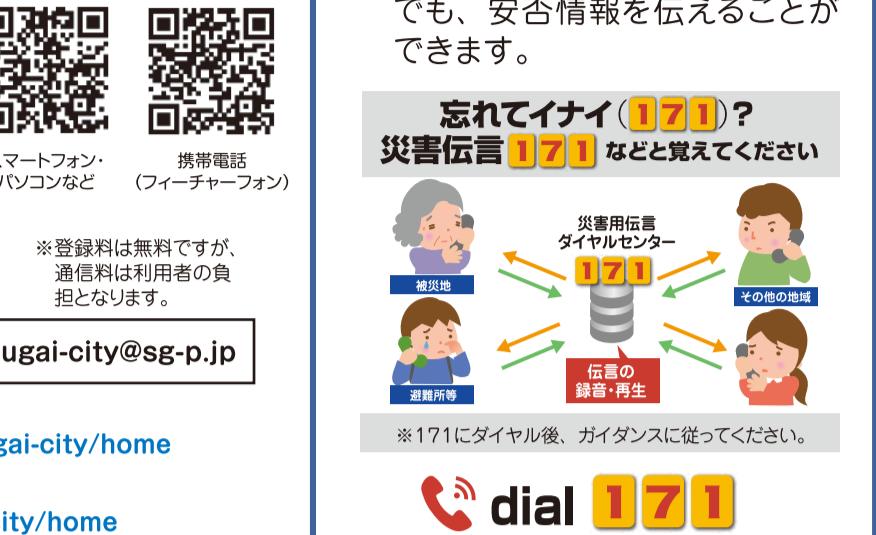
耐震シェルター

- 室内にフレームなどの構造物を組み込んで、一部屋を安全にすることにより命が守られます。（市の補助制度あり）

情報収集と災害時の安否確認

情報収集

- 警察・消防や市ホームページ、テレビ（dボタン）、ラジオ放送から正確な情報を得るようにしましょう。
- SNS等にはデマが混じることがありますので、過信は禁物です。
- 市では、情報配信登録をされた皆さんに、安全安心情報を携帯電話やパソコンにメールで配信します。携帯電話からの登録は、右のQRコードを読み取っていただくが、次のアドレスに空メールを送信してください。



QRコード
スマートフォン・パソコン（ハイキャップ）
携帯電話（ハイキャップ）
※登録料は無料ですが、通信料は利用者の負担となります。
空メール送信用アドレス t-kasugai-city@sg.jp
スマートフォン・パソコンなど用 https://plus.sugumail.com/usr/kasugai-city/home
携帯電話（ハイキャップ）用 https://m.sugumail.com/m/kasugai-city/home
dial 171

*171にダイヤル後、ガイド音に従ってください。

避難所について

避難所の開設時期

- 春日井市で震度5強以上の地震が発生した場合、市職員は、あらかじめ指定された参考先に参集し、避難所を開設します。

▶ 避難所運営のルール

- 市の指定避難所では、避難者の中から選ばれたリーダーのもと、「市職員」や「施設管理者」の支援によって自主運営されます。
- 不自由な生活を少しでも良くするために、皆さんで協力することが必要です。
- 避難所で必要なものは、自分たちで事前に用意しておきましょう。
- 避難所では、トイレ、更衣室、授乳室、洗濯物の干し場など、男女の性別の配慮をしましょう。

指定避難所の備蓄物資

- | 市内41か所の指定避難所には防災備蓄庫があります。 | |
|---------------------------|--------|
| 物 質 | 1施設の数量 |
| クラッカー | 320食 |
| 500ml飲料水 | 240本 |
| 毛布 | 30枚 |
| 簡易トイレ | 4基 |
| 簡易間仕切り | 6セット |
| ガス発電機 | 2台 |

地域防災組織支援事業

- 地域の防災マニュアルを作成した区・町内会や自主防災組織などに對して、備蓄食糧などの購入費用や、マニュアル印刷費用の一部を補助しています。

日頃の備え

家族等の連絡先

名 前	電話番号	会社・学校	住 所
家族等の連絡先			
最寄りの避難所	名 称	家 族 の 集 合 地 借	名 称

防災用品チェックリスト Emergency Kit Checklist

- 特に重要な物を、持ち運びしやすいサイズにまとめておきましょう。
- | 食料関係 | 資機材関係 | 衛生関係 | その他 |
|-------------|--------|------------|------------|
| ■保存食 | ■軍手 | ■傷薬・はんそうこう | ■保証書など |
| ■水 | ■ラジオ | ■常備薬 | ■通帳・現金(小銭) |
| ■アレルギー対応非常食 | ■非常食 | ■お葉手帳 | ■預備の健 |
| ■離乳食 | ■電池 | ■化粧品 | ■預金印鑑 |
| ■乳児食 | ■ヘルメット | ■生理用品 | ■筆記用具 |
| ■粉ミルク | ■雨具 | ■ボディ袋 | ■緊急時連絡帳 |
| ■液体ミルク | ■ポリタンク | ■アルコール消毒液 | ■レジャー・シート |

